

社協、3ブロックとも応募せず！

春日部市放課後児童クラブ指定先公募

7月20日に締め切られた、H31年度からの春日部市放課後児童クラブ指定先公募に、社協が応募しなかった事が判明しました。

父母会連絡会では昨年度、「社協への一括指定」などを要望した署名2832筆を集め、1月20日に市に提出しました。また、6月8日には、署名と同じ内容の要望書を作成し、あらためて保育課にお願いをしました。6月30日に行われた第1回運営連絡会議では、「3ブロックとも応募するのか？」という父母からの質問に対し、社協は「実績もある事なので、前向きに検討中」と回答しています。

にもかかわらず、社協は公募で示された3ブロック共に応募しませんでした。一旦は父母たちを安心させておいて、後戻りできない段階でこの様な事態が発覚。あまりにも一方的なやり方に、我々は不信感を禁じずにはられません。

指導員にも衝撃が！

社協が応募しなかったのに対し、民間企業など数組の団体が応募しているとの情報があります（公式には未発表）。指定先が変われば、在職中の指導員も来年3月までで全員が解雇となります。再雇用の機会が与えられるかどうかは白紙状態であり、仮に再雇用されたとしても、雇用条件については何も保証がありません。そもそも、社協が応募しなかった理由として「指定条件では安定した運営が難しい」事が挙げられています。これが民間企業となれば、社協よりも更に利益を確保する必要性が高まり、結果として運営費の9割を占める人件費を削減する以外に方法がありません。人件費の削減…つまりは指導員の処遇悪化が避けられず、保育水準の低下のみならず、運営そのものが成り立たなく最悪の状況も懸念されます。

指導員組合では、8月17日に緊急の臨時総会を開催し、民間企業への委託（指定管理）に向けた動きを阻止するための運動方針について検討しました。我々父母の側にも、社協への委託（指定管理）を復活・継続させるための協力を求められています。

連絡会として、緊急の声明を発表!!

父母会連絡会では緊急の措置として、この様な事態に至った事に対し「極めて遺憾」とする声明を8月20日付けで発表し、市や社協に対しても責任の追及と是正の要求をしていく方針です。

また、9月初旬に臨時代表者会議を開催し、今後の方針について皆様の協力を呼びかける予定です。よろしくお願いいたします。